

民間や広域行政との適正な役割分担を進めます

・市立幼稚園の民営化

市立幼稚園については、施設や地域の状況を精査したうえで、民営化等を進めることとします。

・高等学校、特別支援学校の広域自治体(大阪府)への一元化

高等学校については、大阪府と協議し、府立・市立すべてを対象とする再編整備の方針を策定します。

特別支援学校については、(新)難波特別支援学校や(仮称)北部特別支援学校の設置に向けて整備を進めます。

今後の中高一貫校の設置に関する検討を含め、高等学校・特別支援学校の広域自治体(大阪府)への一元化を進めます。

学校サポート改革

いじめ・問題行動に毅然とした対応をとるための制度をつくります

いじめた側の児童生徒に対する更生プログラムの策定とそれに基づく段階的な対応を実施します。

いじめられた側の児童生徒に対しては、徹底した支援とケアを図ります。

いじめの調査等を行う第三者専門家チームを設置、派遣します。

教職員向けにフローチャートを用いたマニュアルを作成し、それに基づく取組を徹底します。

体罰・暴力行為を生まない学校づくりや、運動部活動の適切な指導方法を確立します

運動部活動における教員の暴力行為があり、生徒が自ら命を絶つという痛ましい事案が発生した

ことを厳粛に受け止め、すべての教育活動において一切の体罰・暴力行為等を一掃するために、全市「児童・生徒・保護者アンケート調査」を実施し、実態把握を行うとともに、「指導における体罰・暴力行為等に関する教職員意識調査」を行い、学校現場の生活指導において、体罰等が発生する切迫した場面とはどのような場面か、どうすれば問題がなくなるのか等について、教職員の思いを把握しました。

その結果を踏まえ、有識者の意見も聴きながら、体罰・暴力行為等を生まない学校づくりに向け、生活指導の場面における、より実効的な対応指針を策定するとともに、部活動の場面における一切の暴力行為等を容認せず、人格の尊厳にねざした適切な指導のあり方を示すための部活動指針を策定します。

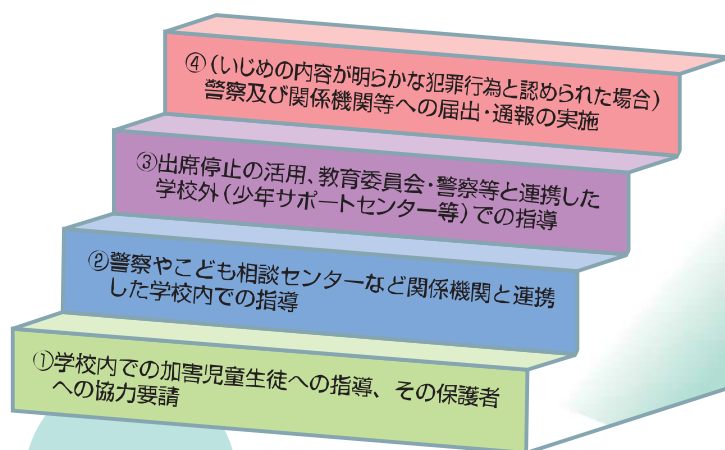
学校運営における課題の解決を支援します

ICTの活用により、教員が子どもと向き合う十分な時間を確保できるよう、校務の効率化を図ります。

学校が抱える解決困難な課題に対応する専門家を派遣します。

学校教育以外でも多様な学習機会を利用できるよう支援します

学習塾や文化・スポーツ教室での学校外教育の利用にかかる経費を助成します。



いじめた側の児童生徒に対する段階的な対応



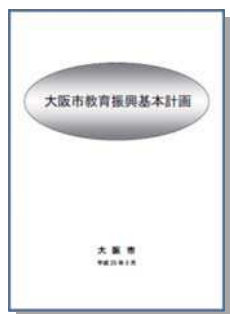
計画の推進にあたって

この計画に基づき施策を総合的に推進するために、教育委員会をはじめとする関係局室、区役所と、学校、家庭、市民、地域団体、NPO、企業その他の教育にたずさわる全ての人や団体が、教育におけるそれぞれの役割と責任を自覚し、互いの信頼を基盤として連携協力し、社会総がかりで教育活動に取り組むことを掲げています。



- 家庭では、全ての教育の出発点として、子どもが基本的な生活習慣を身に付け、規範意識と自立心を持ち、心身の調和のとれた発達を実現するよう努めることが求められています。
- 学校では、保護者や地域住民をはじめとする市民の意向をくみとりながら、校長の権限と責任の下、教職員がその持てる能力を十分に発揮し、学校が子どもたちの活気にあふれる場となるよう運営を行っていきます。
- 地域の実情を最もよく知っている市民・地域団体・NPO・企業などのみなさんは、地域における教育活動や学校・家庭の教育を支援する取組にご協力ください。
- 大阪市では、行政が市民と協働し、市民の活動を支援していくことを基本原則として、多様な主体の協働（マルチパートナーシップ）による取組を継承・発展させることをめざしています。

- この計画の詳細については
「大阪市教育振興基本計画」
(<http://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/page/0000209049.html>)



- 各学校の取組については
学校教育情報「にぎわいねっと」
(<http://www.occec.jp/>)



- 教育施策については
「教育委員会ホームページ」
(<http://www.city.osaka.lg.jp/kyoiku/>)



- 生涯学習の情報については

生涯学習情報提供システム
「いちようネット」
(<http://www.manabi.city.osaka.jp>)



生涯学習情報誌
「いちよう並木」

市役所や区役所、図書館や生涯学習センターなどの市立公共施設、地下鉄主要駅などで手に入れることができます。

また、いちようネットでもご覧になれます。

